

講義情報

講義情報番号	
--------	--

講義表題情報

* 開講学年1	3
* 入学年度1	2013～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	法思想史B

担当教員情報

* 担当教員	椎名 智彦
--------	-------

講義詳細情報

* 講義目的・講義内容	法思想史Bは、基礎法学の1つとして実定法を異なる角度から照らし出し、その理解を促進する役割をもつ。本講義では、20世紀の米国を中心に発達した法の学際研究の中から、その代表格である「法と経済学」(Law and Economics; Economic Analysis of Law)を中心に解説する。(CP-1およびDP-1・2・4に関連)
* 到達目標	法と経済学の基本的発想、およびそれらの社会的背景を理解し、その関連性を具体的に記述できるようになる。また、現代における政治経済構造を正しく把握することを通じて、その限界を認識できるようになる。
* 授業計画・授業外学習	<p>1. 序論:法の学際研究とは 事前学修: 法学と隣接分野の融合について調べておく (2.5時間) 事後学修: 20世紀前半における学際研究の発展について確認しておく (1.5時間)</p> <p>2. 法と経済学とは 事前学修: 前回授業の要点を確認しておく(2時間) 事後学修: 「合理的選択」という考え方について復習しておく (2時間)</p> <p>3. 日本における解雇規制の経済分析①:雇用契約におけるインセンティブ 事前学修: 労働契約法16条・解雇権濫用の法理について調べておく (1.5時間) 事後学修: 解雇規制をめぐる議論の要点について確認しておく (2.5時間)</p> <p>4. 日本における解雇規制の経済分析②:法学的視点と経済学的視点 事前学修: 前回の授業の内容を復習しておく(2.5時間) 事後学修: 解雇規制に関する論点について、自分の立場をノートにまとめる (1.5時間)</p> <p>5. 人と命の経済学①:「赤ちゃん不足の経済学」 事前学修: 先進国における人口減少問題について調べておく (1.5時間) 事後学修: 授業で取り上げた政策提案の内容を整理する (2.5時間)</p> <p>6. 人と命の経済学②:経済活動としての妊娠・出産 事前学修: 授業で取り上げた養子縁組の市場化案について確認する (1.5時間) 事後学修: 市場化案について、自分の考えをノートにまとめる (2.5時間)</p> <p>7. 人と命の経済学③:検討 事前学修: 市場化案について、自分の立場を授業で発表する準備をする (1.5時間) 事後学修: 他の学生の立場と自分の立場を対比し、異同を分析する (2.5時間)</p> <p>8. 公共選択論①:統治過程と合理的選択論 事前学修: 憲法の統治機構の考え方を復習しておく (2.5時間) 事後学修: 合理的選択の考え方が、民主政治にどのように当てはまるかについて検討する (1.5時間)</p> <p>9. 公共選択論②:投票行動の経済分析 事前学修: 最近の国政選挙の投票率などについて調べておく (1.5時間) 事後学修: 授業で示した考え方をういて、国民の政治参加について検討する (2.5時間)</p> <p>10. 公共選択論③:立法過程の経済分析 事前学修: 「特別利益集団」という用語について調べておく (2時間) 事後学修: 投票と法規制の相互関係について確認する (2時間)</p> <p>11. 公共選択論④:行政過程の経済分析 事前学修: 「官僚」という言葉について、意味やコンテキストを詳しく調べる (2.5時間) 事後学修: 官僚の行動原理について、合理的選択の角度から確認する (1.5時間)</p> <p>12. 公共選択論⑤:司法過程の経済分析 事前学修: 「司法消極主義」という言葉の意味と文脈を詳しく調べる (2時間) 事後学修: 日本の裁判官の行動原理を、合理的選択の角度から確認する (2時間)</p> <p>13. 公共選択論⑥:検討 事前学修: 授業で示した現代民主政治の稼働原理について、批判的に検討する (2時間) 事後学修: 公共選択論が見落としているものについて、授業での議論を振り返りながら確認する (2時間)</p> <p>14. 経済学と政治:現代政治のリテラシー 事前学修: 現代日本における各主要政党の特徴について調べておく (2時間) 事後学修: 経済学の政治的性格について復習しておく (2時間)</p> <p>15. 総括 事前学修: 授業で示した様々なアイデアが、現代日本社会を読み解く上でどのように役立つかについて検討する (1.5時間) 事後学修: 授業で示した考え方をういて、時事問題を分析する (2.5時間)</p>

* 履修の条件・注意事項	授業ではマイクロ経済学の基礎理論について言及するが、マイクロ経済学について勉強した経験がなくとも、担当者が詳しく説明するので問題はない。
* 成績評価基準・方法	定期試験(80%)、平常点(授業中の発言、ディスカッションへの参加など)(20%)で、「到達目標」に明示している「現代における政治経済構造」に関する分析・理解の達成度を評価する。
* テキスト	スライドおよびプリントをもとに授業を進める。
参考書	講義中で指示する。